

生物工学若手研究者の集い 夏のセミナー2019 顛末記

(生物工学若手研究者の集い 夏のセミナー2019 実行委員長) 青木 航

本年度の生物工学若手研究者の集い(若手会)夏のセミナーは7月20日~7月21日に、滋賀県高島市・琵琶湖国定公園白浜荘にて開催されました。本セミナーでは、参加者の皆さんが最先端のサイエンスに触れつつ、ネットワーキングを促進できるよう、第一線で活躍する先生方による特別講演、ポスター発表、交流会を三本柱として企画しました。今年も日本全国から多数の方に参加していただき、参加者111名(一般47名、学生64名)と非常に盛況な会となりました。

初日は、若手会会長の今中洋行先生(岡山大学)の挨拶に続き、6件の特別講演を聴講しました。特別講演では、アカデミア・ベンチャー・大企業で最先端のサイエンスを推進されている先生方をお招きし、最新の科学的知見、キャリアパス、今後のサイエンスの行末など、さまざまなトピックでお話を頂きました。まず、高木淳一先生(大阪大学蛋白質研究所)より『理学研究者が行うタンパク質工学~アカデミアが目指すべき技術開発とは?』と題したご講演を頂きました。アカデミアとしてどのような研究をするべきかという、我々が常に問い続けなければならないテーマから始まり、その結果生まれたLassoGraft Technologyと名付けられた最新のprotein binder創製技術についての知見をシェアしていただきました。田中陽先生(理化学研究所生命機能科学研究センター)によるご講演『生物と機械の融合~心筋・電気器官その他を用いた独創デバイス』では、ミミズポンプやシビレイ発電機など、生物と機械を融合して持続可能かつ高効率なシステムの構築を目指すという、きわめてユニークな研究内容を紹介していただきました。前田治子先生(京都北山特許法律事務所)からは『特許出願する?しない?究極の選択!~そもそも発明って何?~』という演題で、特許とは何か、どのように書くのか、強い特許とは何か、といった内容についてご教授いただきました。竹田綾先生(株式会社サイキンソー)による『腸内フローラ検査サービスMykinso立ち上げからの4年間を振り返って』では、海外でのキャリアやサイキンソー設立の経緯など、新しい事業を立ち上げ展開するプロセスをお話いただきました。葛本雅宣先生(塩野義製薬株式会社)による『製薬企業における生物工学出身者のキャリアパス』では、社内のさまざまな研究者へのアンケートに基づく多様なキャリアパスの話な

ど、これから製薬企業を目指す学生にとって具体的なイメージの沸くお話を頂きました。初日最後の特別講演では内藤健先生(農業・食品産業技術総合研究機構遺伝資源センター)から『ワイルドはセクシーである~夢のない研究なんてNGだぜ~』というタイトルで、魅力にあふれたアズキ野生種の紹介から、食料問題の解決に向けたストレス耐性アズキ創出に向けた研究についてご解説いただきました。

続いて行われた若手会恒例のポスターセッションでは、45分ずつの発表時間で計59件のポスター発表が行われ、非常に活発な議論で盛り上がりました。このポスターセッションでは、参加者全員によるポスター賞投票を企画し、より多様な学生をエンカレッジできるよう、優秀ポスター賞に加えて、特別賞やデザイン賞を設定しました。また、バイオインフォマティクス相談部会との共催企画としてバイオインフォマティクス出張相談窓口が会場に設置され、部会の活動紹介などが行われました。

初日の特別講演およびポスター発表終了後、琵琶湖沿岸でバーベキューを楽しみました。乾杯の挨拶では、学会長の高木昌宏先生にご挨拶いただきました。たまたま琵琶湖対岸で行われていた花火大会を楽しみつつ、一般参加者と学生参加者が世代の壁を越えてさまざまな議論を楽しみつつ交流を深めることができました。さらに夜の討論会では、月桂冠株式会社様より提供いただいた日本酒などをお供に、活発な議論が朝方まで続きました。

2日目は、モーニングセミナーで村上賢宏先生(Spiber株式会社)に『構造タンパク質の実用化への挑戦』という演題でご講演いただきました。Spiberの最新のタンパク質デザイン技術や、ビジネスモデルを転換する必要に迫られたときの現場の臨場感など、ベンチャーの研究開発プロセスをリアルに感じる内容を発表いただきました。その後、「これからの未来の話をしよう」というテーマのもと、全員参加型の座談会を行いました。インタラクティブアンケートなど新しい試みにトライしながら、研究の未来やキャリアパスについて、学生・アカデミア研究者・インダストリー経験者が入り乱れて熱い議論が交わされました。

最後に、ポスター賞の表彰式を行いました。最優秀ポスター賞は橋本講司さん(The Scripps Research Institute)、優秀ポスター賞は藤野美穂さん(広島大学)、今井祐太

さん(名古屋大学), 大林洋貴さん(九州大学), 白井薫さん(石川県立大学), 特別ポスター賞は, 佐藤峻さん(九州大学), 緋田安希子さん(広島大学), 東秀隆さん(岡山大学), 最優秀デザイン賞は北村瑠璃子さん(大阪府立大学)が受賞しました。受賞者の皆様, おめでとうございます。続いて, 生物工学会本大会で行われる若手会総会・交流会/イブニングセッションのお知らせ, そして相馬悠希先生(九州大学)から来年の夏のセミナーについてアナウンスをしていただきました。

最後に, 実行委員長青木よりお礼を述べ, 参加者全員で集合写真を撮影して無事にセミナーが終了しました。

末筆となりますが, 本セミナーをご支援いただきました日本生物工学会(本部, 関西支部, バイオインフォマティクス相談部会), 加藤記念バイオサイエンス振興財団, ご協賛・ご寄附を頂きました多数の企業様に深く御礼申し上げます。また, ご多忙の中, 講演をお引き受け

くださいました講師の先生方, 会場のお世話をしてくださいました白浜荘の皆様, 本セミナー開催の機会をください, サポートくださいました若手会役員の先生方に心より感謝申し上げます。そして, 全国よりお集まりいただきました参加者の皆様, 誠にありがとうございました。本セミナーをきっかけに, 皆様の交流の輪がさらに広がり, 来年も夏のセミナーにてお会いできることを祈念しております。

夏のセミナーの様子は, 若手会ホームページ<<http://www.sbj.or.jp/division/young/>>でも公開しておりますので, 是非ご覧ください。

<実行委員>

青木 航(京大), 安藤晃規(京大), 岡橋伸幸(阪大), 曾宮正晴(阪大), 西村勇哉(神大), 堀之内貴明(理研), 三浦夏子(阪府大)



講演会の様子



座談会の様子



参加者の集合写真